

わがまちベンチプロジェクト

人と人がふれあい、つながるきっかけづくりとして市内にベンチを設置しているプロジェクトです。

「1町に1台」を目標に、現在20台が設置されています。



茶屋之町さくら通り

令和3年度は、茶屋之町自治会にて、これまで設置された2台のベンチの利用者が多く、大変好評のため、背もたれのないベンチ3台目がさくら通りに設置されました。通りの桜が満開の時期は市内外から来られた方々がベンチに座って桜を見ておられます。

このプロジェクトを始めて少しずつベンチが増え、ベンチに座って楽しくおしゃべりされている姿を見ると嬉しいです。これからもこのプロジェクトを広げていきたいと思ひます。

キラッとプロジェクト

「キラッとプロジェクト」は高齢者も子どもも、障がいのある人もない人も、生きていく上で必要な情報は何だろうと考えたことから発足しました。

“もしものとき” 皆さまを助けるアイテムの一つになることを目的に「いのちまもるあしや～減災リーフレット」、「いのちまもる わたしノート」があります。ぜひ、使ってみてください。



芦屋市保健福祉センター2階ボランティア活動センターにて配布しています。お声かけください。

地域福祉アクションプログラム

～市民自らがアクションを起こすために～



「こんな芦屋がいいな」

地域のイベント等で「願いのリンゴの木」に寄せられた皆さんの意見を紹介します。

一緒に活動する仲間を募集しています!!



地域福祉アクションプログラム推進協議会って…? ～笑顔でつなぐ芦屋をめざして～

私たち地域福祉アクションプログラム推進協議会は、市民・民間・市が協働して、「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせをつくるために地域福祉活動を続けています。

日頃のちょっとした困り事を解決するためにできることや、したいと思ったことを「アクション」を起こして、住みよい芦屋をめざし、取り組んでいきます。



●お問合せ
 地域福祉アクションプログラム推進協議会事務局
 芦屋市社会福祉協議会 〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14-9
 TEL 0797-32-7525 FAX 0797-32-7538
 ホームページ <https://ashiya-shakyo.com>

地域福祉アクションプログラム推進協議会
 令和4年3月

地域福祉アクションプログラム 令和3年度の活動報告

2017年度より第3次芦屋市地域福祉計画がスタートし、新体制で発足した協議会も5年を経過しました。

2021年度もコロナ禍により1年の大半が緊急事態宣言発令等で大幅に活動が制限されるという状態でした。

人が集まるということが困難な状態ではありましたが、今年度も学生ボランティアによる地域のスマホ講座を始め、岩園町自治会の皆様と協働して落ち葉を集めてのやきいもを行い、老若男女が集った楽しい活動を行うことができました。

また、「この町がすき」という歌を手話で歌い地域の催しで披露し、また宮川幼稚園の園児とともに練習し、園児が保護者の前で披露されました。

地域福祉アクションプログラム推進協議会は、市民・民間・市が協働して活動を行う画期的な団体であると考えます。これからも引き続き今までの活動をさらにより良いものへと変革してまいります。市民の皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

会長 山内祥弘



地域行事

地域福祉アクションプログラム推進協議会の啓発とともに、地域の実情を知るために、地域で開催されている行事に参加しています。



令和3年度は、「潮芦屋ふれあい元気の会」秋祭りに参加しました。豆つかみゲームには、子ども達がたくさん来てくれ、大いに盛り上がりました。ステージでは、「この町がすき」の手話歌を披露しました。



アクションのロゴが入ったピンクのジャンパーを着ています。見かけたら声をかけて下さいね★

NEW この町がすきプロジェクト

この町がすきプロジェクトは、「幼い頃から多くの人と出会ってほしい、「芦屋」を好きになってほしい、楽しみながら福祉にふれてほしい」との思いから企画しました。



令和3年度は、芦屋市民ならどこかで耳にしたことがある『この町がすき』の歌を、手話歌で練習をし、動画にして広く発信していくことになりました。

7月、市の出前講座を利用し、『この町がすき』の手話歌を一般参加者と共に練習をしました。

8月、リードあしやで開催された「若者から学ぶ芦屋の未来」イベントにて手話歌を初披露。初めての人前での披露にドキドキしました。同じイベントに参加していた留学生も新たにメンバーに迎え、11月には地域イベントでの披露を共にしました。

まずは、小さな子どもたちと一緒に手話歌の輪を広げようと、宮川幼稚園に協力を依頼。

園長先生からの希望もあり、今後の活動展開も視野に入れて練習用動画の作成を企画。動画作成を甲南高等学校ボランティア委員会へ依頼しました。

園児たちは一生懸命練習に取り組んでくれ、令和4年3月、年長組園児とアクションメンバーで公開動画を撮影しました。

園児たちの手話歌の上達は目を見張るものがあり、生き生きとした様子に感動を覚えました。手話歌は卒業まで練習を続けました。

ピアノ演奏の富岡さん、練習用動画作成の甲南高等学校ボランティア委員会の皆さま、沢山の方々の厚いご協力に支えられました。

これからも「この町がすき」プロジェクトは活動を続けていきます。

この動画は、宮川幼稚園ホームページと芦屋市社会福祉協議会ホームページにて公開をしました。

※動画は令和4年9月末で配信終了しました。



動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

アクションアワード

～笑顔でつなぐ芦屋をめざして～ vol.6

身近な地域での居場所や社会参加など、人と人とのつながりを広げる活動をされている団体等の活動の紹介と表彰を行う「アクションアワード」を開催しています。



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参集型ではなく、市の広報番組「あしやトライあんぐる」9月前半特集枠の中で、表彰団体取材して頂き、広く安全に活動紹介が出来るよう実施しました。

表彰

「人々が笑顔になる取り組みを自ら考え挑戦を続ける」
学校法人甲南学園 甲南高等学校 ボランティア委員会



「ラジオ体操を通して健康増進と人と人とのつながりを大切に」
松浜公園ラジオ体操の会



あしや発信局玉手箱プロジェクト

<スマホ講座>

今や情報ツールとして、欠かすことのできないスマホを上手に使いこなそうという思いから始まった「スマホ講座」

昨年度に引き続き、高齢者と市内の高校生ボランティアが1対1でスマホの使い方について学ぶスマホカフェは、自治会、集会所の方との実施により、徐々に広まりを見せています。活動を続けることで、参加者同士が成長を感じ、顔見知りができ、新たなつながりが生まれる場所としても各地域で大事にされています。

11月ドコモショップ岡本店に講師依頼をし、市民向けスマホ講座を2回リードあしやにて実施。スマホの基本知識を教わり、各回10名ほどの参加をいただきました。

また、視覚に障がいのある方がどのようにスマホを使われているのか、市内の高校生が当事者の方からボイスオーバーやSiriといった音声機能、画面に点字シールを貼るなど、今まで知らなかったスマホの使い方について学びました。何より当事者と学生さんの触れ合いの場を持つことが出来ました。



『浜芦屋町自治会スマホカフェ』



『スマホ講座』



『視覚障がい者向けスマホの使い方勉強会』

NEW

<落ち葉でやきいも>

(あしや発信局玉手箱メンバー企画)

若者と高齢者がともに楽しく地域活動ができないかという思いから始まった企画「落ち葉でやきいも」



落ち葉でいっぱいの公園掃除に困っている自治会と体力に自信ありの若者。

それぞれの出会いの場を作りたいたいアクションプログラムメンバーが知恵を出し合い、大学生の「落ち葉でやきいもしたらどうだろう」という発案を受け、令和3年12月初めに岩園町

自治会の協力を得て、岩ヶ平公園で開催しました。

当日は近隣の保育所・幼稚園や自宅へのチラシで集まった親子連れ、自治会の方、学生ボランティア、近隣施設の方、市・社協職員、一般ボランティアなど約120名の参加がありました。

みんなで楽しく公園の落ち葉を拾い、その後ほくほくやきいもを持ち帰り、楽しいひと時を過ごしました。今年も年齢の壁、行政、民間の壁を越えて、みんなで楽しくできる地域活動を考えていきたいです。

